

三宅の万灯

養父市三宅/平成 30 年 8 月 24 日

暮らしの中で生きる但馬の民俗芸能を見て歩こうと、おまつり探検隊は但馬各地の民俗芸能・伝統行事を訪ねています。8 月 24 日を中心に但馬各地で万灯行事が伝わっていますが、京都の送り火のように山肌でたくさんのたいまつを燃やしていたものが、今では田んぼの真ん中で 1 列に火をつける所が多くなっています。三宅の万灯は集落から八木川を挟んだ万灯山の稜線に沿って麦わらで作った大たいまつ 24 基に火をつけ、山裾では振り万灯と呼ばれる手持ちの万灯を子どもたちが振り回します。但馬では最も大規模な万灯です。三宅の人々は「三宅の万灯（まんど）さん」と呼んで地域の伝統行事を大切にし、火が消えると大與比神社の広場で盆踊りです。

■期 日 平成 30 年 8 月 24 日（金）

■会 場 養父市三宅 大與比神社

■日 程 午後 7 時 大與比神社 現地集合

※探検隊の赤い幟が目印。車は三宅バス停付近から

国道 9 号と八木川の間農道に片側駐車を

午後 7 時半 点火

午後 8 時半ごろ 盆踊り（やちゃ、祭文など）

午後 9 時ごろ 閉会・解散

■解 説 長岡徹治さん（地元関係者・第一学院高校の万灯参加を指導）

■参加費 会員 300 円 非会員 500 円 当日現地で徴収

参加申込 8 月 22 日（金）までに〒668-0024 豊岡市寿町 5-9 岡 助吉 Tel.0796-22-4386

〒668-0015 豊岡市一日市 190 仁木鏡子 携帯 090-9056-3824

〒668-0056 豊岡市妙楽寺 426 友田靖彦 Tel.0796-23-4549

三宅の万灯；江戸時代中期に始まったと伝えられ、かつては農家がそれぞれ 1 基の万灯を作っていましたが、材料の麦の作付けが減って徐々に減り、昭和 50 年代に中断しました。そこで、ふるさとづくり、地域を元気にと、昭和 61 年に麦を作り万灯を復活させました。五穀豊穰を祈り、虫送りして害獣・害虫を追い払う行事だとも伝えられています。麦わらは 6 月に確保、7 月に現場の草刈りなどの作業をこなし、万灯は各隣保が 3 基ずつ、また近くの旧大谷小学校に誘致した通信制高校の生徒が体験学習として 2 基作成します。

まつりのごちそう；かつてはそれぞれの農家がうどんを打って食べたそうです。万灯を作る麦をたくさん作っていたからかもしれません。

但馬民俗芸能応援隊は民俗芸能の復活・継承を願う自主的・自発的な活動団体です。新しい地域づくりを目指す但馬夢テーブル委員会から平成 16 年に生まれました。但馬子ども民俗芸能祭やおまつり探検隊の開催、但馬民俗芸能事典・ホームページなどに取り組んでいます。会員募集中です。年会費千円。どなたでも入会できます。

主催/但馬民俗芸能応援隊

後援/但馬夢テーブル委員会